

## 第5学年2組 体育科学習指導案

平成29年11月7日木曜日5校時

第5学年2組（男子14名、女子17名）

指導者T1 年永 健二

T2 新田 雄三

### 1 単元名 ボール運動（ネット型：ソフトバレーボール）

#### 2 単元の目標

- (1) 軽くて柔らかいボールを片手や両手で操作したり、簡易化されたゲームでチームの連携による攻撃や守備によって、攻防をしたりすることができるようにする。 (技能)
- (2) ネット型運動に進んで取り組み、ルールを守り助け合って運動をしたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。 (態度)
- (3) ルールを工夫したり、自分のチームの特徴に応じた作戦を立てたりすることができるようにする。 (思考・判断)

#### 3 運動の一般的特性

ボール運動は、勝敗を競い合う運動をしたいという欲求から成立した運動であり、主として集団対集団で競い合い、仲間と力を合わせて競争することに楽しさや喜びを味わうことができる運動である。

その中でもネット型は、ネットで区切られたコートの中で攻防を組み立て、一定の得点に早く達することを競い合っ楽しむ運動である。一般的には、ボールを保持し続けることが認められないので、ボールをうまくつなぐためには、ボール操作の個人技能を習得しながら、チームとしての集団技能を高めていくことが楽しいゲームを成立させる条件となる。また、ゲームにおいては、自分のミスがそのまま失点につながるが多いので、仲間からの励ましの声やカバープレーが大切であり、集団性や社会性を育てる上でもよい教材である。

#### 4 児童の実態

##### (1) 運動に触れる楽しさの体験状況

本学級の児童[男子14名（特別支援学級男子2名含む）、女子17名、計31名]は、明るく素直である。体育に関するアンケートでは、「体育が大好き、好き」と答えた児童が25名と多い。理由として、「運動をすると気持ちがいい、楽しい」「みんなと一緒に学べるから」「できなかったことができるようになるから」などと答えている。一方、「体育があまり好きではない」と答える児童が5名おり、「運動が苦手」「走ったりすることが嫌い」と答えている。

また、ボール運動が「大好き、好き」と答えた児童は28名おり、「みんなと協力できる」「作戦を生かすことができる」と答えている。「あまり好きではない」と答えた児童は2名おり、「ボールを投げたり受けたりすることが得意でない」と答えている。

日常においては、昼休みはけいどろや鬼ごっこなどの遊びがほとんどで、ドッジボールなどのボールを使用して遊んでいるのは男子の一部である。一方、教室や図書室などで本やお絵かきをして過ごす児童は3分の1程度おり、そのほとんどが女子であり運動する児童とそうでない児童の2極化が見られる。

##### (2) 態度、思考・判断に関する学習体験状況

1学期の体づくり運動や水泳の学習では、めあてをもち、その解決方法について考えたり、互いに教え合ったりしながら学習に取り組んできた。しかし、運動の行い方など内容の理解が不十分な児童もおり、自己の課題を解決できない児童もいた。

##### (3) 技能（運動）の習得状況

本学級の実態として、スポーツ少年団でバレーの経験がある児童は2名いるが、ほとんどの児童はバレーボールの経験は少ない。前学年では、ソフトバレーボールのルールや技能を簡易化したキャッチバレーボールやワンバウンドラリーゲームなどを行ってきた。その中で、ワンバウンドでのオーバーハンドパスやアンダーハンドパスを経験しているが、味方が受けやすいような山なりのボールでパスをつないだり、ねらった方向にボールを返したりする技能は十分に育っていない。

(4) 体力の状況

段階	男子					女子				
	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
人数	6人	7人	2人	0人	0人	8人	7人	1人	0人	0人
%	40%	47%	13%	0%	0%	50%	44%	6%	0%	0%

総合評価A・B以上の児童が9割程度おり、体力については高い。しかし、ボール投げだけを見てみると、得点が5点の児童も数名おり、個人差が大きい。そこで、ソフトバレーボールの授業を通して、投力や敏捷性・平衡性、タイミング力などを高めさせることは重要である。

(5) 児童の運動に対する思いや願い

質問事項				
バレーボールは好きですか。	すき 15人	まあまあ好き 11人	あまり好きでない 3人	好きでない 0人
最も高めたい技能は何ですか。	<input type="radio"/> アタック・・・・・・・・・・・・・・・・・・8人 <input type="radio"/> ボールをつなぐ(パス、レシーブ)・・・・21人 <input type="radio"/> サーブ・・・・・・・・・・・・・・・・・・0人			
バレーボールのどんなところが楽しみですか。 (複数回答可)	1 技能が身に付くためのポイントや練習方法を知ること・・・・13人 2 自分が技能を身に付けて上手になること・・・・・・24人 3 友達も技能を身に付けて上手になること・・・・・・17人 4 技能を身に付けるためにみんなで練習すること・・・・23人 5 チームで作戦や練習方法を話し合うこと・・・・・・17人 6 チームで考えた作戦ができるようになること・・・・21人 7 友達と教え合ってみんなで高め合うこと・・・・・・18人 8 試合で勝つこと・・・・・・・・・・・・・・・・・・21人 9 自分より上手な友達に追いつくこと・・・・・・20人			

アンケートの結果、バレーボールが好きと答えた児童が多い反面、「レシーブが苦手だから」といったような技能面に不安がありバレーボールがあまり好きではないと答える児童が3名いた。また、最も高めたい技能として、ボールをつなぐ技能が多いことがわかった。

5 学習を進めるに当たって

そこで本単元では、ソフトバレーボールのルールを簡易化したゲームを段階的に行い、技能面で苦手と感じている児童にもソフトバレーボールのもっている楽しさを十分に味わわせながら学習を進めていきたい。また、チームで教え合ったり、練習方法や作戦を考えたりする活動をとおして、互いに助け合い励まし合う態度を育てていきたい。

本学年はT・Tでの指導となる。授業の前半では、技能面の指導やポイントを押さえる役割をT1(体育専科)が行い、学習の流れや態度面の指導をT2(学級担任)が行っていく。授業の後半では、T1は、技能的な面で個別に指導を行う。T2は、チームの課題に合った作戦や練習方法を選んでいるかを確認していく。それぞれの課題に沿った活動ができているチーム(児童)を賞賛したりすることで、技能面だけではなく、学び方の指導を併せて行うようにする。単元全体を「オリエンテーション」「ステップ1『ボールをつなぐために必要な技能やボールを受ける前の動きを身に付けよう。』」「ステップ2『チームの特徴に応じた攻め方を知るとともに、自分のチームの特徴に合った作戦を立てよう。』」の3段階で構成する。単元全体をとおして、「準備」「めあての確認」「準備運動・基礎的な技能を高める運動」「ゲーム1」「振り返りと練習」「ゲーム2」「本時の振り返りと次時の確認」の流れで学習を進める。

オリエンテーションでは、学習の進め方や道具の安全な使い方について理解させるとともに、文部科学省から出されている小学校体育(運動領域)デジタル教材を見せることで、運動の行い方やゲームのゴールイメージをもたせたい。また、出会いのゲームをさせることで、個人やチームの課題を明らかにし、一人一人に課題をもたせてステップ1へとつなげていきたい。

ステップ1では、基礎的な「パス」「レシーブ」「サーブ」の技能を高めるように指導していく。その際には、ICTや学習カードを用いて技能のポイントを明確化していく。そのポイントが相互評価のポイントになることも併せて指導し、互いに教え合いながら学習に取り組む態度を育てていきたい。また、ゲームの

ルールを段階的に変えていくことで、ソフトバレーボールの楽しさを味わせるとともに、スペースを見つけて攻撃することや組み立てて攻撃するよき、ポジショニングによる守備のよきについても気づかせていきたい。

「ステップ2」では、「ステップ1」で学習したことを生かしながら、チームで攻め方や守り方の作戦を考えて、ゲームを楽しみながら行うように指導する。チームでの練習では、前時までの練習方法の中からチームや個人の課題に応じた練習を選択させ、課題を解決できる喜びや目的意識をもって取り組む大切さを感じさせていきたい。

特に本時の学習では、これまでの学習を生かし、連携を意識してプレーするよう指導していく。「はじめ」の段階では、個やチームの課題に応じた基礎的な技能を高める運動を行うようにする。「なか」の段階では、これまで学習してきたことを生かすとともに、アドバイスや仲間意識を感じられる声かけも考えてゲームを行っていくように指導する。「おわり」の段階では、本時のめあてについて振り返り、チームのよきを生かしてソフトボール大会をむかえられるように助言していきたい。

6 単元の評価規準 (● 第5学年 ・ 第6学年 ◎ 第5・6学年共通)

	運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 集団体集団で競い合う楽しさや喜びに触れることができるよう、ボール運動に進んで取り組もうとしている。</li> <li>● 用具の準備や後片付けで、分担された役割を果たそうとしている。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ルールやマナーを守り、友達と助け合って練習やゲームをしようとしている。</li> </ul> </li> <li>◎ 運動する場を整備したり、用具の安全を保持したりすることに気を配ろうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ネット型のゲームの行い方を知るとともに、簡易化されたゲームを行うためのルールを選んでいる。</li> <li>◎ チームの特徴に応じた攻め方を知るとともに、自分のチームの特徴にあった作戦を立てている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 簡易化されたゲームで、チームの連係による攻撃や守備をするための動きができる。</li> </ul>
学習活動に即した評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ゲームに進んで取り組もうとしている。</li> <li>② ルールやマナーを守り、友達と助け合って練習やゲームをしようとしている。</li> <li>③ 場や用具の安全に気をつけようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 簡易化されたゲームを行うためのゲームの規則や練習を選んでいる。</li> <li>② チームの特徴に応じた攻め方を知るとともに、自分のチームの特徴にあった作戦を立てている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 自陣のコートから相手コートに向けサービスを打ち入れることができる。</li> <li>② 味方が受けやすいようにボールをつなぐことができる。</li> <li>③ ボールの方向に体を向けることができる。</li> </ul>

8 本時の学習 (7/8)

(1) 本時の目標

- チームの特徴に応じた攻め方を知るとともに、自分のチームの特徴にあった作戦を立てている。  
(思考・判断)

(2) 本時の評価項目

- チームの特徴に応じた攻め方を知るとともに、自分のチームの特徴にあった作戦を立てている。  
(思考・判断)
- 味方が受けやすいようにボールをつなぐことができる  
(技能)

9 学習指導過程 (7/8)

階段	学習内容及び学習活動	指導上の留意点	
		T 1 (新田)	T 2 (年永)
はじめ 10分	1 準備をする。 (休み時間中に終わらせる)  2 あいさつをする。 3 めあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ コート、ボール、フラフープ、得点版、ビプスを準備させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 友達と協力して、決められた役割を果たしているか確認する。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                         ≪めあて≫ チームで、攻め方や守り方の作戦を考えて、ゲームを楽しもう。                     </div>			
	4 準備運動に取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各チームでストレッチをする。</li> <li>○ 基礎的な技能を高める運動をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ストレッチを行いながら、本時のめあてに関係のある話をさせる。</li> <li>○ ストレッチが終わった班からボールを取り、前時までに学習した練習方法の中からチームや個人の課題に応じた練習を選択させる。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ オーバーハンドパス</li> <li>・ アンダーハンドパス</li> <li>・ サーブ</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各チームや個人のめあてを確認するとともに、めあてを立てることができない児童にはアドバイスをする。</li> <li>○ 支援が必要な児童やチームを回り、技術的な指導をする。</li> </ul>
なか 27分	5 学習の確認をする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ めあてにそったゲームをすることを確認する。</li> </ul> 6 ゲーム1に取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全チームゲームを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ めあてが「攻め方や守り方の作戦を考えて」ということから、スペースを見つけて攻めたり、ポジショニングを考えて守ったりするように確認する。「楽しもう」ということから、互いに励まし合う言葉や態度についても確認する。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次は、拾える!</li> <li>・ どんまい</li> <li>・ ナイス</li> <li>・ ハイタッチ など</li> </ul> </div>
		<b>【ルール】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ サーブからはじめる(アタックライン)。1回のサーブミスは再度行う事ができる。(投げ入れてもよい)</li> <li>○ 3回で返す。</li> <li>○ 一人が1回しか触れない</li> <li>○ 1回の攻撃で、1打目に限り1バウンドまでは拾える。</li> <li>○ オーバーハンドパスにおいては、キャッチしてもよい。</li> <li>○ 相手コートに入って2バウンドしたら1点</li> <li>○ 相手コートに入らなかつたら相手に1点。</li> <li>○ 1プレイでローテーション</li> </ul>	

		<p>《作戦例》</p> <p>攻め) ○スペースをねらう ○奥をねらう</p> <p>守り) ○ワンバンを使う ○高く (ほどよく) 上げる ○立ち位置</p>	
		<p>○ 【「努力を要する」状況と判断される児童への手立て】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボールの落下地点へ移動することや腕の使い方、ボールを受ける立ち位置について個別に指導する。</li> <li>・ タブレットを使い、自分の動きの改善すべき点を確認させる。</li> </ul>	
	<p>7 振り返りと練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ゲーム1から感じたことの確認</li> <li>○ 練習方法の確認</li> </ul>	<p>◎ チームの特徴に応じた攻め方を知るとともに、自分のチームの特徴にあった作戦を立てている。</p>	
		<p>○ 「攻め方、守り方の作戦」や「楽しむ」について気を付けたことを考えさせグループ内で発表させる。</p> <p>○ 「攻める、守る」ために、これまでの学習を振り返って作戦を立て練習をさせる。</p>	<p>○ 支援が必要な児童やチームを回り、技術的な指導をする。</p>
		<p>【Aの例】</p> <p>◎ チームのよさや課題を考え、改善するための練習方法や作戦を立てている。</p> <p>◎ 味方が受けやすいようにボールをつなぐことができる。</p>	
	<p>8 ゲーム2を行う。 (ルールはゲーム1と同じ。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全チームゲームを行う。</li> </ul>	<p>○ 指導者は、攻め方、守り方の観点をもって、それぞれのチームや個人の動きを観察する。できている児童はほめる。できていない児童には、立ち位置やパスの行いた、高さ、距離等についてアドバイスをする。</p>	
		<p>○ 指導者は、態度の観点でもチームや個人の言葉や動きを観察する。</p> <p>○ 態度面は、学習カードを使うことで、評価の参考にしていく。</p>	<p>○ 【「努力を要する」状況と判断される児童への手立て】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボールの落下地点へ移動することや腕の使い方、ボールを受ける立ち位置について個別に指導する。</li> <li>・ タブレットを使い、自分の動きの改善すべき点を確認させる。</li> </ul>
<p>おわり 5分</p>	<p>9 後片付けをする。</p> <p>10 学習の振り返りとまとめを行う。</p>	<p>○ 協力して安全に留意しながら後片付けを行うよう指示する。</p> <p>○ 学習カードを使い、チームで振り返りを行わせる。</p> <p>○ ゲームを通しての感想を発表させる。</p>	<p>○ 学習カードで振り返りを行う。</p> <p>○ 次時のめあてを確認する。</p>